

後発医薬品(ジェネリック医薬品)・バイオ後続品(バイオシミラー)の使用 および医薬品供給不足時の対応について

当院では、医療の質と持続可能性の両立の観点から、後発医薬品(ジェネリック医薬品)およびバイオ後続品(バイオシミラー)の使用を推進しています。あわせて、院外処方においては一般名処方を基本とし、医薬品の安定供給に配慮した処方運用を行っております。

- **後発医薬品(ジェネリック医薬品)**
先発医薬品と同一の有効成分を含み、品質・有効性・安全性について国の基準を満たした医薬品で、薬剤費の負担軽減に資するものです。
- **バイオ後続品(バイオシミラー)**
先発バイオ医薬品と同等の有効性および安全性が確認されている医薬品であり、経済的負担の軽減が期待されます。

また、後発医薬品が存在する薬剤について、患者様のご希望により先発医薬品を選択される場合には、制度に基づき特別の料金をご負担いただくことがあります。ただし、医学的必要性が認められる場合には、この限りではありません。

なお、近年の医薬品供給状況を踏まえ、やむを得ず処方内容(銘柄や規格等)を変更する場合があります。その際は、事前に適切な説明を行い、治療への影響に配慮した対応を行います。ご不明な点がございましたら、医師または薬剤師等までお尋ねください。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

池袋病院